

基本業務手順書 -倉庫棚卸作業-

1. 定義

SPDシステム上の在庫数(以下:理論値)と倉庫内の実棚の在庫数(以下:実棚値)の整合を行うことを「倉庫棚卸作業」とする

2. 作業者

2名1組で行う

3. 作業手順

- ① SPDシステムより棚番毎に事前作成された“棚卸リスト表”を元に2名1組となり、1名は実棚の商品の数値を読み上げ、1名は読み上げられた商品の数値を“棚卸リスト表”へ記載していく
- ② 実棚の商品の数値を読み上げる担当者は、棚の左上段から順番に商品名、規格、品番、数値を読み上げていく
※数値を読み上げる際は、最小単位で読み上げる
※商品によっては有効期限を読み上げる
- ③ “棚卸リスト表”に記載していく担当者は読み上げられた数値と照らし合わせ、理論値と実棚値と同じであれば、在庫数の欄の数値に○をつけ、理論値と実棚値と異なる場合は、棚卸数欄に読み上げられた数値を記載すると同時に付箋をつける
- ④ “棚卸リスト表”に記載していく担当者は、“棚卸リスト表”の商品の内グレーの網掛けがされている商品は有効期限確認が必要である為、実棚の商品の数値を読み上げる担当者に有効期限が必要な旨を伝え、読み上げられた有効期限を記載する
- ⑤ 終了後、“棚卸リスト表”の上段の1回目に2名の担当印を押印
- ⑥ 1回目棚卸後、理論値と実棚値と異なった商品に対して、別の担当者2名にて再度棚卸を行い、“棚卸リスト表”の上段の2回目に2名の担当印を押印
- ⑦ 全ての棚卸終了後、“棚卸リスト表を”まとめ、上長に報告する